

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」

(放送日 令和6年12月28日(土)又は令和6年12月29日(日))

(公財)日本消防協会

ひろたアナ

「おはよう！ニッポン全国消防団」、今日は日本消防協会の秋本敏文会長をお迎えしています。今年も新会館の完成などご苦労さまでした。

秋本会長

今年も、この「おはよう！ニッポン全国消防団」などお世話になりまして、ありがとうございました。

お話のございました新しい日本消防会館ですが、本当に多数の方々のご支援ご協力をいただきまして完成し、11月29日には、天皇陛下のご臨席のもと、石破総理、衆議院議長、参議院議長、最高裁長官のご出席をいただき、自治体消防75周年記念大会を開催いたしました。

令和7年も新会館を有効に活用して日本消防、全国市町村自治の発展に貢献できるようにしなければなりません。

ひろたアナ

楽しみですね。令和6年は、お正月早々地震、津波などがあって大変な年でしたが、令和7年はどんな年になりますかね。

秋本会長

令和6年だけでなく、近年は、これまでと様相が異なる大雨などいろいろな災害が発生しています。このことの背景には、地球環境全体の変化があるという見方があり、そう考えますと、令和7年もあまり変化はなく、大規模ないろいろな災害があり得ると考えていなければならないのでしょうかね。

ひろたアナ

そうなりますと、消防は相変わらず大変ですね。

秋本会長

そうですね。消防としてはそのようなことを覚悟しながら、どんなことがあっても地域の皆さんの生命財産を守るという消防使命の達成に力を尽くすという気持ちをもっていなければならないでしょうね。そうなりますと、ひきつづき、消防防災体制全体の充実強化を進めなければなりません。

ひろたアナ

まず何をおやりになるのですか。

秋本会長

まず、必要な人の確保、人的体制ということで、消防団員の確保が大きな課題ですね。かつて100万人をこえていたのが段々減ってきて90万人を切りそうになったというおよそ20年近く前に、消防応援団をつくっていただくようお願いをし、そのメンバーの方々にご出演いただく番組ということで、この「おはよう！ニッポン全国消防団」をスタートさせていただいたのですが、最近では70万人台にまで減少しています。

ひろたアナ

大変ですね。

秋本会長

そうなんです。そして、消防団だけでなく、女性防火クラブという地域防災体制の大切な担い手の皆さんもかつて250万人ものメンバーがおられたのが100万を切りそうになっています。そうなりますと、消防団の問題としてだけでなく、地域の防災体制全体のあり方として受けとめる、そして、もっといえば消防防災体制の問題としてだけでなく、最近では地方消滅という言葉まで出ていますが、地域コミュニティー全体の問題として受けとめ、地域の人と人とのつながりを強めながら、地域のなりわいを盛んにし、福祉、医療、教育、お祭りなどを活発にし、そのなかで消防防災、安全な生活の確保を話題にするようなことも必要かなと思ったりします。

ひろたアナ

なるほど。消防の問題は地域のあり方全体のなかのひとつでしょうね。そのほかにはいかがですか。

秋本会長

そうなんです。そのほか、気象関係などの情報把握、新しい技術を活かす装備の改善など、いろいろな課題があります。これから先、現在のような災害の状況、地域社会の状況に対処して地域の安全を守るためにどのような対処が必要なのかについては、もう少し総合的に検討していくことが必要になるかもしれません。令和7年もいろいろな課題があるでしょうが、皆様のご意見もいただきながら、新しい日消会館の活用も含めて前進するよう努力してまいります。

ひろたアナ

そうですね。令和7年も日本消防協会の活動充実のため、お元気にご活躍いただきますよう、よろしくお願いします。

おはよう！ニッポン全国消防団 今日では日本消防協会の秋本敏文会長にお話を伺いました。ありがとうございました。